

Title	語文 第114輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 114
Issue Date	2020-08-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/85455
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

本輯は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中での編集となり、発行も例年より遅くなってしまいました。この間、阪大の授業も遠隔での実施となり、図書館や研究室の使用も制限されるなど、研究・教育にも大きな影響が出ています。七月の大学院生研究発表会も、ウェブ会議システムによる実施となりました。

本輯掲載の日本文学三本、国語学一本の論文は、教員、院生、および今春の博士学位取得者のものです。また、会員の方々の新刊五点の紹介を掲載することができました。感染症の影響下での研究・教育活動には、今後も様々な困難が想定されますが、研究室の先輩方のご研究に学び、堅実に歩みを進めていきたいと思います。

ウィルス感染症の拡大に伴い、ソーシャルディスタンス社会的距離を保つことが求められているところですが、その距離が他者との分断を広げ、偏見を強め、差別や排除につながるおそれもあります。他者とのようにつながりを持つかという問題は、今後ますます重要になるのではないのでしょうか。そのとき、言葉は、あるいは文学は、良くも悪くも、これまで以上に大きな影響力を持つことになるのかもしれない。

皆様のご健康を、心より祈念いたします。

(勢田)

語文 第百十四輯

令和二〇二〇年八月二十五日 印刷
令和二〇二〇年八月三十一日 発行

編集・
発行者

大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 金水敏

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 〇六―六八五〇―五一一一

印刷 能登印刷株式会社